

令和1年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上伊那発！ぬくもり実感・森林の循環発信事業
事業主体 (連絡先)	上伊那林業振興協議会 伊那市東春近1604番地1 TEL 0265-72-3232 FAX0265-76-9291
事業区分	産業振興、雇用拡大(森林づくりと林業の振興)
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,974,088円(うち支援金:3,316,000円)

事業内容

- 森林の持つ役割や間伐等の重要性、木材の良さをPRするとともに、上伊那産材の利用拡大を図るため、教育施設等の整備を支援する。(モデル普及事業)。
- モデル的で発展性のある事業である理由
- ・設置作業を小学校児童やPTAへも参加を呼びかけ、地域ぐるみの活動を実施し、地域産材の普及・促進を図ると共に、木材の良さを広くPRすることができる。
 - ・子どもの頃から木の香りや木のぬくもりを感じてもらうことにより、木材への愛着が深まり、将来にわたり木材を利用したいという気持ちを高めることができる。
 - ・上伊那産材の普及促進に向けブランド化を目指すことにより、林業及び産業が活性化される。



【 】

【目標・ねらい】

- ① 森林整備の促進、地域材利用の拡大
- ② 森林の役割と間伐の必要性
- ③ 森林から木材になるまでを学ぶ
- ④

事業効果

- ① 林業の振興を図り森林整備が促進しました。(間伐面積2.0ha)
 - ・搬出材を有効利用し、循環型社会の構築が促進できました。(間伐材30m³)
- ② 子どもの頃から木の香りや木のぬくもりを感じてもらうことにより、木材への愛着が深まり、将来にわたり木材を利用したいという気持ちを高めることができた。

また、木材を積極的に使っていくことが地球温暖化防止にとって、極めて重要であるという正しい知識を、本事業を通じ理解が図られ、将来にわたる林業後継者の育成と環境意識の高い消費者の裾野拡大につながった。
- ③ 市町村単独実施に比べ上伊那全体で取り組むことによりアピール度が高まってきている。
- ③ 今年度、森林環境推進の部で、当協議会が長野県教育委員会賞を受賞した

※自己評価【 A 】

【理由】

2期6年間にわたり上伊那地区の依頼のあった小中学校に出向き、木育活動を行なって来て、間伐の必要性や間伐材を使った製品を直接手に触れて、実感してもらえた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

上伊那地域各市町村への理解をより一層深めてもらい、地元産木材利用の促進を目指す。地域住民と森林との関わりを縮めるための小さなきっかけづくりとして出張木育事業の実施。

学校側から依頼のあった各小学校で、森林の役割、役割を果たすために間伐の必要性を伝える木育事業を行い、森林に興味を持つきっかけづくりを行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある